

# 医療最前線 Dr.レポート

226

## あすへの提言

### 最近の肝臓病について その1 「肝臓病の概要」

日本大学松戸歯学部は、歯科学を「口腔科学(Oral Science)」と捉え、医学の一分科としての教育を展開。最前線で活躍する歯科・医科のスペシャリストに、医療現場の現在と未来について連載でレポートしてもらう。



日本大学松戸歯学部 内科学・消化器器講座 教授 山本 敏樹 先生

今回は「沈黙の臓器」とよくいわれる、肝臓の病気についてお話しします。主な慢性的な肝臓病の原因には、肝炎ウイルスへの感染、自己免疫性肝疾患、アルコール性肝疾患、非アルコール性脂肪性肝炎、銅や鉄の代謝異常による病変、薬剤による肝障害などがあります。

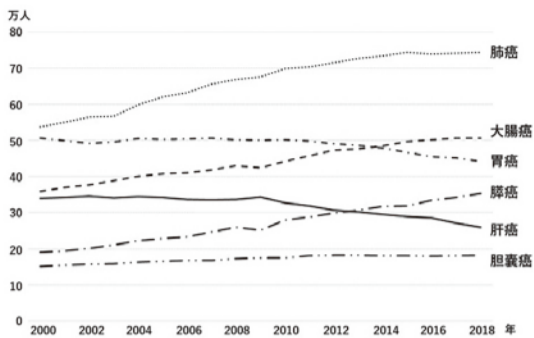
また、慢性の経過にはならず一過性に肝臓が破壊され、その後よくなる病態は急性肝炎といわれ、多くはA型肝炎やE型肝炎、あるいはヘルペス属のウイルス感染により引き起こされます。しかし急性肝炎のなかにはごく一部に、重篤な病態に進行し救命が難しい劇症肝炎と呼ばれる急性肝不全を起すものもあり、今後の

さらにその後血、液製剤により感染する肝炎ウイルスとして、1990年代にC型肝炎ウイルスが発見され、アルコール性肝疾患よりもこれらのウイルスへの感染が主な肝臓病の原因であることがわかりました。

この間の新薬の開発は決して順調とはいえなかったとされています。期待されていた抗ウイルス薬の開発による肝硬変へと進展し、肝不全や原発性肝癌を合併するようになっています。

2000年以前には国内で年間3万から3万5000人程度と、たいへん多くの方が原発性肝臓病で亡くなつておりました。特に、あれほど治療に苦しめたC型肝炎は、治療できるようになり、B型肝炎も近年は、年間2万5000人程度まで減少してきており、この間の医学の進歩を実感します。

日本大学松戸歯学部 附属病院 内科 消化器器科 山本 敏樹 先生



図：2000年以降の主要悪性疾患の死亡数

この間の新薬の開発は決して順調とはいえなかったとされています。期待されていた抗ウイルス薬の開発による肝硬変へと進展し、肝不全や原発性肝癌を合併するようになっています。

最近、いら立ちや悲しみなどはありませんか。そんな時には「写経」です。脳みそが現実から離れて心静かに紙に向かい、一点一画おろそかにせず筆を進めていく。そこには体力も忍耐力も要求されませんが、書き終えた時の清々しさは言葉に出来ません。写経の功德は、何よりも心の安定を得られることです。

日本では6世紀ごろに仏教が伝わり、写経は聖徳太子の時代あたりから盛んになります。奈良時代には、中国・隋唐時代の写経所にならって、その道

「隅寺心経」は弘法大師・空海の筆跡と伝えられますが、実際にはさまざま筆跡があります。いずれも

成田山は、まもなく「弘法大師ご誕生1250年記念大祭」を迎えます。空海とも縁あるこちらの古写経を、4月22日から6月18日まで当館で公開します。(学芸員 谷本真里)

## 肝臓病の歴史

初めに少し肝臓病の歴史について説明いたします。戦後は肝臓の病気という、酒の飲みすぎと関係が深まりましたが、1960年代にB型肝炎

この間の新薬の開発は決して順調とはいえなかったとされています。期待されていた抗ウイルス薬の開発による肝硬変へと進展し、肝不全や原発性肝癌を合併するようになっています。

「隅寺心経」は弘法大師・空海の筆跡と伝えられますが、実際にはさまざま筆跡があります。いずれも

成田山は、まもなく「弘法大師ご誕生1250年記念大祭」を迎えます。空海とも縁あるこちらの古写経を、4月22日から6月18日まで当館で公開します。(学芸員 谷本真里)

成田山書道美術館 成田山640 0476-24-0774 https://www.naritashodo.jp/

## 出稽古の世界



春休みを迎え、部活動が活発になってきました。冬の間に走り込みや基礎練習を積み上げた運動部は、一回り大きくなった身体で遠征や練習試合に繰り出していきます。四月に始まる春大会はもうすぐそこまで来ています。

師範上級生など普段とは違った環境に囲まれながら、共に汗を流す時間。稽古の間、自分のペースで、古の本数や順番、かけ声一つ一つも新鮮なリズムで重なる切迫感の瞬間。出稽古は一つ一つの練習の意味を改めて考え直すことができる貴重な時間です。

最後の最後、補強運動の腕立て伏せで「ラスト十回全員で声を出そう」との声。「イチ、ニー、サイ...」今日一日の稽古が最後の良いほど、全力を出し切った身体にはキツイ最後の十回。されどこの一番の大きな声が出るのもやはりここなのです。とびやけの疲労とそれ以上の達成感を胸に出稽古は幕を閉じます。

現役教師。教育現場のありのままを伝え、読書室内でも執筆する。

## 書の力

隅寺心経 第二十七回 伝空海 奈良時代

「隅寺心経」は弘法大師・空海の筆跡と伝えられますが、実際にはさまざま筆跡があります。いずれも

成田山は、まもなく「弘法大師ご誕生1250年記念大祭」を迎えます。空海とも縁あるこちらの古写経を、4月22日から6月18日まで当館で公開します。(学芸員 谷本真里)

成田山書道美術館 成田山640 0476-24-0774 https://www.naritashodo.jp/



### 新加入FW、大型ストライカー

ト選手です。オランダ出身、90分のフル出場。ゴールの25歳、身長193cm、ルこそなりません。体重99kgという超大型ですが、身長を生かした前線トライカー。ヨーロッパでの競り合いや、相手Dクラブで活躍し、3月にFを背負いながらも足元のボールをしっかりと取り、随所でゴールを狙う俊敏性も備えています。



3月19日 最初のホームゲームは9時のアウェイ広島(日)19時からの鹿島鳥戦です。アントラーズ戦です。言先発起用ならずと知れた強敵です。しかし、プロト選手のゴールを期待し、是非とも日立台のスタジアムで、まだコンディションをいいたします。(柏レイソル広報)

## ふれあいプレゼント

**成田山書道美術館** 弘法大師ご誕生1250年記念 成田山の美術 4月22日(土)~6月18日(日)まで 休館日：月曜日

**キリン 生茶** 525mlペットボトル 24本入り 2名様

**キリン 午後の紅茶** おいしい無糖 500mlペットボトル 24本入り 2名様

成田山書道美術館 成田山640 0476-24-0774 https://www.naritashodo.jp/

「14歳までは十分遊ばせることが大事」と古山さん

「千葉市教育機会確保の...」

「茂春山宝成寺の襷絵...」

住職の赤星隆誠さんと、襷絵を描いた抽象水墨画家の荒井恵子さん(写真左側)

花... 大橋生キウ